

大分エコライフプラザからの お知らせ

1 正面入口の「検温装置」設置について

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、大分エコライフプラザの正面入口箇所に「検温装置」を設置しました。入館時は、検温のご協力をお願いします。検温後、37.5度以上の発熱がある方は入館をお断りいたします。予めご了承ください。



2 「古着のリユース」について

大分エコライフプラザでは、再利用を目的とした「古着リユース」を行っています。古着の受け入れだけでなく、譲り渡しも実施していますのでご利用ください。受け入れにつきましては、再利用ができるよう、必ず洗濯をした古着をお持ちください。



古着の受け入れ条件

- 必ず洗濯したものをもちってください。
- シミ、ほつれ、毛玉、虫食い、色あせのあるものは受け入れ不可。
- 種類によっては受け入れられないものもありますのでご了承ください。
- 毎月第一日曜のみ、古着の受け入れを行っていません。

古着の譲り渡し条件

- 大分市、由布市在住の18歳以上の方が対象となります。
- 展示の古着を譲ってほしいという方は受付に申し出てください(無料)。
- おひとり様1ヶ月に3品まで譲り渡しが可能です。

3 再生自転車の抽選に参加される皆様へ

毎月第一日曜に開催の「再生家具と再生自転車抽選」に出品の再生自転車につきましては、あくまでも「再生品」となりますので、当選された方々は各自、自転車販売店にて安全点検が必要となります。抽選にご参加の方は予めご了承くださいませようお願い申し上げます。なお、抽選は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、非公開での実施となります。



4 「フリーマーケット」「かえっこバザール」開催休止について

毎月第一日曜に開催していましたが「フリーマーケット」「かえっこバザール」ですが、現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を休止しています。今後のコロナ禍の状況に応じて、再開への検討を進める予定です。再開の際は、市報または大分エコライフプラザのホームページで告知しますので、ご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



Event Information

講座は予約制です。人員になり次第、締め切りとなります。



木工(キッチン)小物

毎月 第2土曜

10:00~12:00
募集人数:10人
参加費(実費):1,000円
対象:制限なし
(お子様は保護者同伴)
持参:特になし(エプロン)
講師:宮崎 宏史

- 2月13日(土) ケヤキのバターナイフ
- 3月13日(土) ケヤキのスプーン



古布リメイク教室

毎月 第3土曜

9:30~12:00
募集人数:10人
参加費(実費):200円
対象:小学校高学年以上
(お子様は保護者同伴)
持参:布
講師:斎藤 千恵

- 2月20日(土) サイドポケット付きバッグ
- 3月20日(土) バッチワーク きんちゃく



リサイクル革小物教室

毎月 第3日曜

10:00~12:00
募集人数:12人
参加費(実費):500円
対象:小学校高学年以上
(お子様は保護者同伴)
持参:特になし
講師:小野 宏美

- 2月21日(日) 印鑑ケース
- 3月21日(日) 小さな革のサンダル ヘンダント



■再生家具と再生自転車の抽選会は 2月7日(日)、3月7日(日)に開催予定です。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、抽選は非公開で実施となります。
※新型コロナウイルスの感染拡大の状況次第で中止となる場合がございます。予めご了承ください。
※「フリーマーケット」「かえっこバザール」につきましては、当分の間、お休みとさせていただきます。

参加応募 ハガキ宛先 大分エコライフプラザ 〒870-1205大分市福宗618番地

お問い合わせ
大分エコライフプラザ
〒870-1205大分市福宗618番地
tel097-588-1410

Neco-press
企画・発行 NPO法人 まち・文化再生プロジェクト
〒870-0924 大分市校3-12-4
tel097-578-6820 fax097-578-6821
発行人 町野 悠雄
制作 SOFT FACTORY
※本誌掲載の記事・写真など無断で複製・複製(コピー)・転載することを禁じます。



Neco-press

大分エコライフプラザ 環境を楽しく考える情報誌

01

January 2021
GET FREE

「Neco-press」は大分市より運営を民間委託されたNPO法人「まち・文化再生プロジェクト」が発行する大分エコライフプラザの機関紙です。 2021年1月30日発行第30号

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



世界の変化に伴った課題を解決するための目標 「SDGs(持続可能な開発目標)」をご存知ですか?

世界各国で猛威を振るい、経済をはじめ様々な影響を与えている新型コロナウイルス。収束・終息まではウィズコロナとしての新たな生活様式で日々過ごしていかなければならない状況が続いており、コロナ禍は、改めて私たちの今までの生活の在り方や考え方を再認識させる出来事でもあるといえます。

そこで、今回のNeco pressは、アフターコロナの世界で更に注目されると思われる、世界の変化に伴った課題を解決するための目標「SDGs(持続可能な開発目標)」についてご紹介します。「SDGs」は自然環境や天然資源、気候変動対策をはじめ、貧困、教育など17の主たる目標とそれに付随した169の具体的な目標が設定されています。世界を変えるための様々な目標を知ること、これからの皆さんの生活に関する取り組みについてのヒントが見えてくるかもしれません。

「SDGs(エスディージーズ)」とは?

「Sustainable Development Goals(日本語では「持続可能な開発目標」)の略称で、日本だけでなく全世界で、地球が抱える課題を解決するための「世界共通の目標(世界を変革するための国際目標)」として、2015年9月に開催された国連サミットで加盟国193か国によって採択されました。2015年から2030年の15年間で、2030年のより良い未来を描いた、主たる17項目の目標と具体的な169の目標達成に向けて行動する事で、持続可能な社会を実現させ続けることを目的としています。更に、「誰一人取り残さない」を理念に、17の目標を達成することで全人類の幸福度を向上させる壮大な目標もあります。

今回のコロナ禍の影響により、達成に近づいた目標もあれば、逆に遠のいてしまった目標もあり、今後の各国の取組が注目されています。



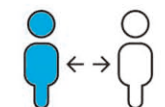
新型コロナウイルス感染拡大防止に関する

ご来館の 皆様へのお願い

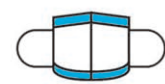
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、『大分エコライフプラザ』をご利用の皆様へ感染対策のご協力をお願いいたします。ご不便をおかけしますが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。



入館前後に、
手指の消毒をお願いします。



2m以上の間隔をあけ、
短時間でのご利用をお願いします。



館内では、マスクの
着用をお願いします。



入場を制限する場合があります。



RASOX

包み込むような履き心地
made in JAPAN

2030年のあるべき未来に向けての「17の目標」

身近な問題から世界基準での問題、途上国だけでなく先進国にも関係する問題解決を目指すため掲げられた17の世界共通の目標を紹介いたします。17の目標については、「環境」「社会」「経済」の3つのカテゴリに分類されており、この3つのカテゴリーが揃うことで目標達成につながる構成になっています。

※17の目標は世界共通で取り組みますが、先進国と発展途上国では取り組む方法が異なります。

1 貧困をなくそう

あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ

全世界で極度の貧困や十分な社会保障が受けられない人々に対する支援などの対策がなされています。日本でも7人に1人が「相対的貧困」という平均所得の半分以下で生活する相対的な貧困で苦しんでいる問題を抱えています。

4 質の高い教育をみんなに

すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

学校に通うことができない教育格差のある全世界の子どもたちへ、識字や算術能力向上のための質の高い教育提供や支援が必要となっています。ジェンダーと貧困による格差を解消することでの、質の高い高等教育機会を提供することも目標のひとつです。

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

すべての人に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

再生可能なエネルギーが全世界のエネルギー供給の20%以上を占めるなど改善傾向にあります。また全世界の5人に1人が電力を使用できない状態となっているため、更なる再生可能エネルギーに関する取り組みが必要と考えられています。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る

今でも40億人がインターネットを利用できない環境にあり、先進国と発展途上国とのデジタル格差が広がっています。技術革新と起業を促進するために情報と知識の平等なアクセスを確保するためのインフラ整備と技術開発が望まれています。

11 住み続けられるまちづくりを

都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする

都市部の人口増加が続いており、PM2.5などの影響による大気汚染をはじめとした様々な問題が発生しています。ゴミの適切な収集や廃棄、安全で安価な住宅確保など都市計画や管理を改善することが必要となっています。

2 飢餓をゼロに

飢饉に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する

飢饉で苦しむ人数が減少傾向にありましたが、近年再び増加しており、栄養が足りていない人の数が全世界で8億人以上いると推定されています。問題解決のために、農業の基盤を発展させるための支援や技術的な革新を推進しています。

5 ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る

日本でもジェンダーの平等を議論する場面が増えています。世界では、家事や育児をはじめ、雇用や労働関連などの男女差別をなくすことで女性たちの実力がいかされ安心して生活できる環境をつくるのが課題となっています。

8 働きがいも経済成長も

すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する

労働市場の改善が望まれる中、結果として経済成長につながるよう、起業と雇用創出を促す政策の推進をはじめ、すべての女性と男性の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい仕事(ディーセント・ワーク)の達成が目標です。

10 人や国の不平等をなくそう

国内および国家間の格差を是正する

世界の最富裕層の10%が全世界の所得の40%近くを占有しており、「所得格差」が広がっています。こうした格差拡大を防ぐべく、人種や性別などにかかわらず、健全な政策の採用を求める行動を起こし平等を実現する必要があります。

3 すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

感染症の蔓延を阻止することを目標とし、全世界の人々が適切な予防や治療を受けられるような環境になるよう支援を行う他、医療研究開発の支援や安価で質の高い医薬品が全ての人々に行き渡るための体制づくりに取り組む必要があります。

6 安全な水とトイレを世界中に

すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する

日本の水については衛生面でも優れていますが、世界の約3割が安全な水を利用できていない状況が続いており、水と衛生に関する問題を解決するためのインフラ整備や水不足などが課題となっています。

OITAエコチェック!

大分市のほとんどの水道水は、大分川や大野川および、その支川流域を水源としているのはご存知ですか？ 原水を各浄水場で取水、浄水処理を行い、水道水として家庭をはじめとしたみなさんのもとに届けられています。浄水場では「水質検査計画」にそって約200項目におよぶ水質検査の実施など、安全でおいしい水道水を提供するため日々、水質管理に努めています。更に、「環境にやさしい水道」を目指して、浄水発生土の再利用など様々な地球環境への負荷の低減にも取り組んでいます。

OITAエコチェック!

大分市における家庭ごみの排出量は、令和元年度で約11万トン(1人1日あたり630グラム)でした。実は、家庭から出された燃やせるごみのうち約5割を生ごみが占めており、焼却施設の燃焼効率を低下させる大きな要因となっています。そこで、大分市では、食品ロスや生ごみの水分を減らし、ごみの減量につながるため「食べきり・使いきり・水きり」の「3きり運動」の実践や、家庭ごみの減量に向けた取り組み「4R」など推進しています。

日本政府の取組について

2016年5月、内閣は全閣僚を構成員とする「SDGs推進本部」を設置。同年12月、国内外において目標を達成するため、持続可能な経済・社会づくりに向けた課題解決先進国として、8項目の優先課題を掲げた日本の「SDGsモデル」を世界に発信。

※2020年12月、2021年のSDGs推進のための具体的施策をとりまとめた「SDGsアクションプラン2021」を決定しました。

- ① あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現
- ② 健康・長寿の達成
- ③ 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション
- ④ 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備
- ⑤ 省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会
- ⑥ 生物多様性、森林、海洋等の環境保全
- ⑦ 平和と安全・安心社会の実現
- ⑧ SDGs実施推進の体制と手段

12 つくる責任 つかう責任

持続可能な消費と生産のパターンを確保する

経済成長と持続可能な開発を達成するために、産業や企業、消費者に廃棄物の発生防止と再利用を促すだけでなく、開発途上国がより持続可能な消費パターンに移行できるように支援が必要となっています。

OITAエコチェック!

大分市福家にある環境センター「大分エコライフプラザ」では、リユース(再利用)を目的とした古物の受け入れ・譲り渡しをはじめ、毎月第一日曜日は、粗大ごみとして持ち込まれた家具と自転車を再生して希望者へ抽選(無料)で譲る「再生家具と再生自転車の抽選会」を開催しています。

13 気候変動に具体的な対策を

気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る

日本だけでなく、世界各地でも異常気象や平均気温の上昇など「地球温暖化」による気候変動の深刻な影響を目の当たりにしています。世界各国が団結して早急な対策を取るだけでなく、地震や台風、洪水などによる災害リスクも考慮した管理投資なども必要です。

OITAエコチェック!

大分市は平成23年度から、電力需要の高まる夏季と冬季に、地球温暖化対策のための節電キャンペーンを行っています。今年度も「みんなで節電 2020(冬)」と題して、令和3年3月31日(水)まで、家庭や事業所など冬にできる節電対策を呼びかけています。

14 海の豊かさを守ろう

1平方キロメートル当たり約1万個以上のプラスチックごみが見つかるなど海洋汚染の影響で世界の海の環境が悪化しています。海洋と沿岸の生態系を持続可能な形で管理し、海洋酸性化の影響に取り組んでいます。

OITAエコチェック!

大分市では、弁当の容器やレジ袋などみなさんの身近にある「プラスチック製容器包装(資源プラ)」のリサイクルのご協力をお願いしています。収集した資源プラは各工程を経て振木やプランターなどにリサイクルされます。まずは、燃やせるごみとして捨てず、正しく分別して資源プラとして排出することで地球環境への負荷の軽減などにつながります。

15 陸の豊かさも守ろう

陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る

海洋資源と同じく重要な、陸地の自然資源。現在は土地の劣化による耕作地の損失や干ばつ、砂漠化など年々深刻化が進み、動物の絶滅数も徐々に増加傾向にあるため、森林や湿地、乾燥地、産地などの陸上生態系を保全する必要があります。

OITAエコチェック!

大分市では、集会所や学校、子ども会などに市職員がお伺いし、ごみの分別・減量方法などご説明する「ごみ減量・リサイクル推進懇談会」を実施しています。森林破壊など環境問題につながる、大分市が推奨する「4R」(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)の取り組みについてなど、ごみに関する疑問にお応えしています。

16 平和と公正をすべての人に

持続可能な開発に向けて平和と包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する

世界では平和な国もあれば、今なお激しい武力紛争をはじめとした暴力という悪循環に陥っている国もあります。世界すべての人々が平和と安全な生活を送ることができるよう、法の支配を強化し、人権を推進することを目的としています。

17 パートナリシップで目標を達成しよう

持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

今まで紹介してきた目標にあるように、世界が抱えている問題は深刻です。今はコロナ禍の影響で自国の対応に追われているのが現状で、目標の中には難しいものもあるかもしれませんが、達成には世界各国の協力が必要不可欠です。

みんなで家庭ごみを減らそう! 「ごみダイエット大作戦!!」

ごみの現状を知っていただくことで、ごみのダイエット(減量)につながればとの思いから、大分市では、「ごみダイエット大作戦!!」と題して、家庭ごみの減量目標と各月の排出量を大分市のホームページで公表しています。ちなみ置の「ごみ減量啓発ボード」掲載など様々な場所で公表しています。ちなみに、令和2年度のごみ排出量目標が8万6,021トンに対し、4~11月現在で約6万3,000トンの排出量となっており、昨年(2020)の11月(一日1人あたり)の排出量が目標値より15グラム多い結果となりました。今後もより一層のご協力をお願いします。

おもちゃのCHA♪CHA♪CHA♪で交換会

お友達みんなへ。おもちゃの交換会「かえっこバザール」は当分の間、お休みします。

毎月、いらなくなったおもちゃの交換会「かえっこバザール」を行っていましたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当分の間、お休みします。楽しみにしていた子どもたちも多いと思いますが、再開するまで、いらなくなったおもちゃは大切に保管しておいてくださいね。

再開が決定した際は、大分エコライフプラザ公式ホームページなどでお知らせします。

■お問い合わせ
大分エコライフプラザ
tel.097-588-1410